

【現況】



【再撮影】



図 5-12-5(1) JR大阪駅1番ホームからの景観（現況）

【施設完成後】



図 5-12-5(2) JR大阪駅1番ホームからの景観（施設完成後）

【景観の変化の程度】

区 分	近景域
地点番号	4
地 点 名	J R大阪駅1番ホーム
施設完成後には、計画建物の中層部の東側壁面が視認されるようになる。 計画建物については、西梅田地区の街並みとの連続性に配慮する計画である。 建物の外装は、駅前の新たな顔としてふさわしい、都市的でシンボル性の高いものとなるよう、統一感のある縦基調のデザインにより伸びやかな印象を生み出し、ランドマーク性を高めるとともに、駅前にふさわしい質の高い設えとなるよう、外装材や色彩等に配慮する計画である。	



【現況】



【再撮影】



図 5-12-6(1) 梅田スカイビル展望台からの景観（現況）

【施設完成後】



図 5-12-6(2) 梅田スカイビル展望台からの景観（施設完成後）

【景観の変化の程度】

区 分	中景域
地点番号	5
地 点 名	梅田スカイビル展望台
<p>施設完成後には、計画建物の全体が視認されるようになる。</p> <p>事業計画地周辺には既に超高層建築物が立地していることから、計画建物については既存の超高層建築物のスカイラインとの調和に配慮し、地域全体での都市的な景観形成及び魅力向上を図る計画である。</p> <p>建物の外装は、駅前の新たな顔としてふさわしい、都市的でシンボル性の高いものとなるよう、統一感のある縦基調のデザインにより伸びやかな印象を生み出し、ランドマーク性を高めるとともに、駅前にふさわしい質の高い設えとなるよう、外装材や色彩等に配慮する計画である。</p>	



【現況】



【再撮影】



図 5-12-7(1) 中之島中央公会堂前からの景観（現況）

【施設完成後】



図 5-12-7(2) 中之島中央公会堂前からの景観（施設完成後）

【景観の変化の程度】

区 分	中景域
地点番号	6
地 点 名	中之島中央公会堂前
<p>施設完成後には、堂島地区のビル越しに計画建物の高層部の一部が視認されるようになる。</p> <p>事業計画地周辺には既に超高層建築物が立地していることから、計画建物については既存の超高層建築物のスカイラインとの調和に配慮する計画である。</p> <p>建物の外装は、駅前新たな顔としてふさわしい、都市的でシンボル性の高いものとなるよう、統一感のある縦基調のデザインにより伸びやかな印象を生み出し、ランドマーク性を高めるとともに、駅前にふさわしい質の高い設えとなるよう、外装材や色彩等に配慮する計画である。</p>	



【現況】



【再撮影】



図 5-12-8(1) 肥後橋南東角からの景観（現況）

【施設完成後】



図 5-12-8(2) 肥後橋南東角からの景観（施設完成後）

【景観の変化の程度】

区 分	中景域
地点番号	7
地 点 名	肥後橋南東角
<p>施設完成後には、四つ橋筋に面するビル越しに計画建物の高層部の一部が視認されるようになる。</p> <p>事業計画地周辺には既に超高層建築物が立地していることから、計画建物については既存の超高層建築物のスカイラインとの調和に配慮し、地域全体での都市的な景観形成及び魅力向上を図る計画である。</p> <p>建物の外装は、駅前の新たな顔としてふさわしい、都市的でシンボル性の高いものとなるよう、統一感のある縦基調のデザインにより伸びやかな印象を生み出し、ランドマーク性を高めるとともに、駅前にふさわしい質の高い設えとなるよう、外装材や色彩等に配慮する計画である。</p>	



【現 況】



【再撮影】



図 5-12-9(1) 淀川河川公園の景観（現況）

【施設完成後】



図 5-12-9(2) 淀川河川公園からの景観（施設完成後）

【景観の変化の程度】

区 分	中景域
地点番号	8
地 点 名	淀川河川公園
<p>施設完成後には、大阪梅田地区の高層ビル群の中に計画建物の高層部が視認されるようになる。</p> <p>事業計画地周辺には既に超高層建築物が立地していることから、計画建物については既存の超高層建築物のスカイラインとの調和に配慮し、地域全体での都市的な景観形成を図る計画である。</p>	



【現 況】



【再撮影】



図 5-12-10(1) 大阪城天守閣からの景観（現況）

【施設完成後】



図 5-12-10(2) 大阪城天守閣からの景観（施設完成後）

【景観の変化の程度】

区 分	遠景域
地点番号	9
地 点 名	大阪城天守閣
<p>大阪城公園の緑地の向うに広がる市街地の一画に、計画建物の高層部の一部が視認されるようになる。</p> <p>周辺には大規模な建築物が立地していることから、計画建物については既存の超高層建築物のスカイラインとの調和に配慮し、地域全体での都市的な景観形成を図る計画である。</p>	



【現況】



【再撮影】



図 5-12-11(1) JR神戸線からの景観（現況）

【施設完成後】

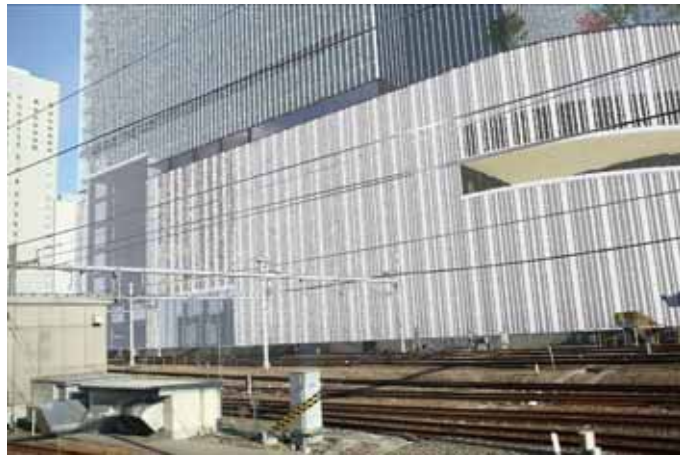


図 5-12-11(2) J R 神戸線からの景観（施設完成後）

【景観の変化の程度】

区 分	車窓
地点番号	10
地点名	J R 神戸線
<p>事業計画地北側を列車が通過する際に、計画建物が視認されるようになる。          事業計画地周辺の J R 沿線には既に高層建築物が立地していることから、計画建物については西梅田地区との連続性に配慮する計画である。          建物の外装は、駅前の新たな顔としてふさわしい、都市的でシンボル性の高いものとなるよう、統一感のある縦基調のデザインにより伸びやかな印象を生み出し、ランドマーク性を高めるとともに、駅前にふさわしい質の高い設えとなるよう、外装材や色彩等に配慮する計画である。</p>	



### (3) 評価

#### 環境保全目標

景観についての環境保全目標は、「魅力ある都市景観の形成及び周辺都市景観との調和に配慮していること」、「大阪市都市景観条例等に基づく計画、施策等の推進に支障がないこと」とし、本事業の実施が事業計画地周辺の景観に及ぼす影響について、予測結果を環境保全目標に照らして評価した。

#### 評価結果

「大阪市景観計画」では市域全域が基本届出区域と重点届出区域により構成される景観計画区域に定められており、事業計画地は、重点届出区域の「四つ橋筋地区」に位置し、景観形成方針として「ビジネス街としての落ち着きがあり緑豊かな街路景観の形成」等が掲げられている。また、事業計画地は地域特性として、大阪駅前における景観形成の重要性が高い地域であることから、計画建物は、駅前の新たな顔としてふさわしい、都市的でシンボル性の高いものとなるよう、統一感のある縦基調のデザインにより伸びやかな印象を生み出し、ランドマーク性を高めるとともに、駅前にふさわしい質の高い設えとなるよう、外装材や色彩等に配慮する。

予測結果としては、遠景～中景においては、事業計画地周辺に既に多くの超高層建築物が立地しており、計画建物についても既存の超高層建築物のスカイラインとの調和に配慮し、地域全体での都市的な景観形成を図る計画であることから、景観に違和感を与えることはないと予測された。中景～近景においては、大阪駅南側の駅前空間を構成する周辺建物との調和に配慮した高さで基壇部を構成し、高層棟と基壇部のデザインの切り替えを行うことで、駅前広場の歩行者等に対して一体感やまとまり感（程よい囲まれ感）を創出する計画である。また、西梅田地区の街並みとの連続性に配慮し、壁面の位置や高さ等の調和を図る計画である。近景においては、ヒューマンスケールの設えが重要となるため、沿道のセットバック空間は西梅田地区と調和した設えとし、緑豊かな歩行者空間やオープンスペースを確保する。また、計画建物内に配置する店舗等と一体的に計画することで、緑の潤いと賑わいが感じられる魅力あふれる街並みを形成する計画である。これらのことから、景観に違和感を与えることはないと予測された。

なお、計画建物の外装材や色彩等については、今後、大規模建築物等の景観配慮に関する事前協議等において、四つ橋筋地区における景観形成基準に基づき、大阪市担当部局と協議を進めていくことになる。

また、平成 19 年度に日本郵政株式会社が大阪中央郵便局の建替えを検討するにあたって組成した『「大阪駅前にふさわしい景観形成・歴史継承のあり方」に関する検討委員会』の提言を踏まえ、『中央郵便局局舎の建築的特長を備えた、ある大きさを持った建物の一部を新建物へ移設』し、計画建物と一体のものとして、歴史と文化の継承となるような魅力的な空間形成を図る計画である。

以上のことから、魅力ある都市景観の形成及び周辺都市景観との調和に配慮しており、また、大阪市都市景観条例等に基づく計画、施策等の推進に支障がないよう計画していることから、環境保全目標を満足するものと評価する。